

佐渡支部会員研修会 事業報告

- 1 日時：2024年11月30日（土） 9：30～12：30
- 2 会場：金井コミュニティセンター
- 3 参加者：14名（医療2名、学校5名、公衆衛生3名、福祉4名）
- 4 ねらい：①災害時の対応について学ぶ
②栄養士同士のつながりをもつ
③大切な仲間と素敵な時間を過ごす
- 5 内容：

①災害時の栄養士として活動するために何を整備する必要があるか。

②食料の備蓄状況の把握 について

◆JDA-DAT 研修会参加者からの報告



「佐渡という離島の土地柄、なかなか他の地域への支援に行くことは難しいが、支援を受ける立場になったときのためにも、この研修を受けておくと見えてくるものがある。」といった研修会受講者から学べるよい機会となった。

◆情報交換会（グループワーク）



「いざという時のために、栄養士同士顔が見える関係作りが必要」「備蓄食品を活用した献立、どこにどんな備蓄品があるかの一覧表があるとよい。」など活発な意見交換がなされた。

◆パッククッキングの調理実習



焼き鳥缶炊き込みごはん、ツナオムレツ、ひじきの煮物、ポテトサラダの4品を調理

「初めてのパッククッキングだったが、少ない調理道具で調理でき、災害時にもおいしく食べられる。」「パッククッキングの他のメニューもやってみたい。」など前向きな感想が多かった。



6 まとめ

- ・災害はいつ起きるか分からない。日頃からの顔が見える関係、困ったときに声をかけられる関係であるためにも、栄養士の横のつながりが必要である。そのために栄養士同士の連絡手段を整え、研修会を継続していく。
- ・離島という土地柄、災害時にすぐに物資や支援が届きにくい可能性がある。3食×3日分の自主避難の備蓄食材を使用してできる佐渡版のパッククッキングのレシピ作成をし、市民に啓発していきたい。